冷凍空調設備の

第44回優良省エネルギー設備（装置）顕彰

募　集　要　綱

冷凍空調設備に関する優良省エネルギー事例を下記の通り募集いたします。奮ってご応募下さい。

１．目的

冷凍空調設備の省エネルギー・環境保全を一層促進するため、優良事例を広く募り、これを顕彰して、省エネルギー技術の開発と普及に寄与するとともに、ユーザー及び冷凍空調設備の施工業者など、関連産業界に省エネルギー・環境保全の意識の高まることを期待します。

２．募集内容

冷凍空調設備で独創的な省エネルギー技術、手法が施された、次の各部門について募集します。なお、当該設備は近年（概ね５年以内程度）に施工または実施されたものに限ります。

(1) 新 設 設 備 部 門：近年施工された冷凍空調設備で、設計、施工に省エネルギー技術及び手法が用いられ、経済効果が高く、かつ、実用面で広く活用できるもの。
(2) 改 修 設 備 部 門：既存の冷凍空調設備を省エネルギーのため改修した設備で、効果が明確に期待でき、現実的に他に応用が可能なもの。
(3) 運転・保守管理部門：既存の冷凍空調設備のエネルギー消費効率を高めるために実施した、運転・保守管理にエネルギー・マネージメント手法を採用したもの。

３．応募資格

特にありませんが、出来るだけ(一社)日本冷凍空調設備工業連合会各構成団体の会員または賛助会員等が施工または協力した設備。

４．応募書類

別紙様式に従い書類を正・副各１通を提出して下さい。なお、応募された資料等については、当会会報「冷凍空調設備」に掲載し、広く一般に公表することと致しますので、公表できない資料、データ等につきましては、資料提出の際にお知らせ下さい。
なお、**応募書類は、データでもお送りください。**

(1) 設備の概要説明：別紙応募申請書の項目ごとにＡ４の用紙（横書き）にまとめる。様式３については、項目ごとに作成していただければ様式は自由です。（ただし原則Ａ４版）
(2) 図　面：Ａ３またはＡ４。用紙に簡明に記載すること。
(3) 写　真：当該設備の全体が理解できるもの及び建物全体がわかるもの。キャビネ版２～３枚。
(4) データ：書式は問わないが、経済性、省エネルギー効果など具体的に記載のこと。実測データに基づき説明すること。

５．顕彰対象

原則として、同一設備について、**当該設備所有者と設備業者**を顕彰の対象といたします。
（ただし、設備所有者は匿名でも可。その場合は、設備所有者は顕彰の対象外となります。）

６．応募締切

令和８年１２月２５日までに、下記または構成団体事務局に必着するよう提出して下さい。

７．審査

審査は、①着想　②効果　③投資回収　④応用性　⑤環境保全などの項目を中心に応募いただいた申請書の内容について、学識経験者を長とする特別委員会で審査する。（書類審査のみ）

８．審査の発表

令和９年２月の省エネルギー月間に東京で審査委員会を開催し、優秀な設備について、同年３月に顕彰します。（顕彰式：令和９年３月１８日（木）於：KKRホテル東京（東京・千代田区））

９．賞

部門ごとに優秀賞若干、奨励賞若干。なお、総合部門最優秀賞に(一財)省エネルギーセンター最優秀賞１。

１０．応募先・問い合わせ先

(一社)日本冷凍空調設備工業連合会または構成団体へ提出して下さい。
〒105-0011　東京都港区芝公園３－５－８　機械振興会館３階
電話０３－３４３５－９４１１　FAX０３－３４３５－９４１３
担当：髭分・大沢（info@jarac.or.jp）

（様式１）

第44回「優良省エネルギー設備顕彰」応募申請書

令和　　年　　月　　日

一般社団法人　日本冷凍空調設備工業連合会
会　長　　國　松　　孝　一　　殿

（申請者）　住　所　〒

会社名

代表者名　　印

連絡担当者名

電話　　FAX

E-mail :

（申請者）　住　所　〒

会社名

代表者名　　印

連絡担当者名

電話　　FAX

E-mail :

「第４４回　冷凍空調設備の優良省エネルギー設備顕彰」に下記の通り応募申請致します。

部　門　名	
応募設備・システム名	

注）申請者欄について、単独申請の場合は１カ所のみ記入して下さい。申請者が多い場合は、適宜欄を増やして下さい。

（一社）日本冷凍空調設備工業連合会受付

事務局　受付年月日　令和　年　月　日 分類番号

申請設備建物の概要

建物の名称				
建物の所在地				
概　　要	建　　家	地上　　階　　地下　　階	延床面積	
	構　　造	ＲＣ造　Ｓ造　ＳＲＣ造　木造	用　　途	

設備施工業者（※**会社名、代表者名は正確にご記入ください。**審査結果及び賞状に記載されます。）

会　社　名						
所　在　地	〒					
代　表　者　氏　名						
担当者部署・役職名				担当者氏名		
電　　話		FAX		E-mail		
概要	業　　種		資 本 金			
	従業員数		創立年月			
	事業内容					

設備施工業者（※**会社名、代表者名は正確にご記入ください。**審査結果及び賞状に記載されます。）

会　社　名						
所　在　地	〒					
代　表　者　氏　名						
担当者部署・役職名				担当者氏名		
電　　話		FAX		E-mail		
概要	業　　種		資 本 金			
	従業員数		創立年月			
	事業内容					

設備所有者（※**会社名、代表者名は正確にご記入ください。**審査結果及び賞状に記載されます。）

会　社　名				
所　在　地	〒			
代　表　者　氏　名				
担当者部署・役職名			担当者氏名	
電　　話			Ｆ　Ａ　Ｘ	
概要	業　　種		資 本 金	
	従業員数		創立年月	
	事業内容			

※設備所有者は無記名でも可。ただし、その場合、設備所有者は顕彰の対象外となります。

以下の項目に従い、申請書を作成して下さい。（根拠等を示して、詳細に記載すること）

１．技術開発の目的と経過

目的：
経過：平成・令和　　年（設計、検討等）
平成・令和　　年（試作、試験納入等）
平成・令和　　年（試運転、引渡し等）

※それぞれのデータをご提出ください。公表できない場合は、お知らせください。（ただし、審査委員会には開示します。）

２．設備・システムの概要

① 内容説明、構造、特徴等について記載すること。

３．着　想

４．効　果（省エネルギー）

① 省エネルギー効果を使用･運転データ､独自に計算した結果などを具体的な根拠を示して記載すること。
② できるだけ、年間通してのデータを提出のこと。

５．投資回収（省マネー）

① 設備投資等の省エネによる効果で、何年で回収できるか根拠を示して記載すること。

６．他の建物への応用性・便利性

① 応募物件の他の建物等への応用性や、取扱い易さ等について記載すること。

７．仕様又は開発製品、システム、部品等の仕様

① カタログ等に表示されている仕様を別紙添付してもよい。

８．環境保全、便利性等

① CO_2、NO_X、SO_X等の排出抑制･削減について、根拠を示して、具体的に記載すること。

９．工夫した点、発想した点、創作した点、新しい点等、設備の特徴

① 特に今回の設備で工夫した点等、特徴的なものを記載すること。

１０．市場性，販売状況、適応市場の大きさ、競合品又はシステムとの比較、販売実績（国内、外）等

１１．外観・構造図

① 構造・システムフロー図等
② 外観や設備の写真を添付すること。

１２．添付資料

その他、資料があれば添付すること。